

令和五年度

岡山県立中学校及び岡山県立中等教育学校

適性検査Ⅱ

【注意】

- ・ この検査は、文章や資料を読んで、太字で書かれた課題に対して、答えやあなたの考えなどをかく検査です。課題ごとに、それぞれ指定された場所にかきましよう。
- ・ 検査用紙は、表紙（この用紙）をのぞいて三枚^{まい}あります。指示があるまで、下の検査用紙を見てはいけません。
- ・ 「始め」の合図があつてから、検査用紙の枚数を確かめ、三枚とも指定された場所に受検番号を記入しましょう。
- ・ 検査用紙の枚数が足りなかったり、やぶれていたり、印刷のわるいところがあつたりした場合は、手をあげて先生に知らせましよう。
- ・ 検査用紙の ※ には、何もかいてはいけません。
- ・ この検査の時間は、四十五分間です。
- ・ 表紙（この用紙）と検査用紙は、持ち帰つてはいけません。

課題1 次の文章は、文学作品（詩・物語）を読む意味について書かれている『国語をめぐる冒険』の一部です。この文章を読んで、(1)から(3)に答えましょう。

コンフォート・ゾーン (comfort zone) という概念があります。心理学の用語で、コンフォートは快適、ゾーンは領域。自分にとって快適で慣れた環境をいいます。そこにいるとストレスがなくて楽。でも成長もない。そんな状況です。人が成長するためには、少しだけ背伸びが必要。その領域はストレッチ・ゾーンと呼ばれます。自分を拡張させる経験を繰り返して、少しずつ成長していくのです。

これは言葉にも当てはまります。使い慣れた言いかたで満足していると、伝える力は伸びないし、言葉の奥にある感情や思考にも気づけない。はじめての表現の手触りを確かめたり、あたりまえの言葉の底をのぞいたりしなければ、隠された宝物には出会えないということ。です。

そんなふう言葉と四つに組んで格闘するうち、しっくりしなかったものが思いがけず腑に落ちたり、もっとふさわしい言いかたを見つけたりできるでしょう。その瞬間から、言葉がいきいきと動き出し、あなたの一部になるのです。

最後に、もう一つだけ大切なことをお伝えします。言葉を通して出会うのは、自分の心だけではありません。心のうつわを、より大きく、より深く、より豊かにするためには、他者の心を体験することも欠かせません。

それについて、詩人の荒川洋治さんの『読むので思う』の一節を紹介させていただきます。

本を読むと、何かを思う。本など読まなくても、思えることはいくつもある。だが本を読まなかったら思わないことはたくさんある。人が書いた作品のことがらやできごとはこちらには知らない色やかたち、空気、波長をもつ。いつもの自分にはない思いをさそう。読まない、思いはない。思いの種類の少ない人になり、そのままに。

(荒川洋治『読むので思う』)

ほかの人が書いたものを読むと、自分になかった思いが誘発されるといいます。

荒川さんは「すぐれた文学作品は、想像と思考の力を授けてくれる。人の心をつくる。人間の現実にはたらきかける。

「文学は実学である」とぼくは思う(同書「文学談義」)とも言っています。(中略)

文学作品の登場人物は、時に驚くべき体験をします。自分の殻をやぶる冒険です。東国へと旅をする『伊勢物語』の男、メロスの行動に心打たれて改心する王、虎になって苦悩する李徴など、そのような主人公に自分のどこかが重なります。ほかの人はこう考えるのかと目を開かされます。文学を読むと、現実では遭遇できないことを深く体験できるのです。

「文学は実学である」、たしかに、そう思います。長く読みつがれてきた名作は、表からも裏からも、広くも深くも読みこめる。読むたびに新しい発見がある。

冒険の勇者が旅をするのは、変化し続ける先の見えない世界。正解が一つではない場所で、自分を知り、その時々状況にふさわしい答えを探しながら進んでいきます。

そこで味方になるのは、身を守ったり、謎を解いたり、壁を壊したり、情報を得たり、現実を変えたり、七変化する言葉です。その武器をしっかりと携えて、自分を鍛えあげていく。そうすれば、目の前に広がる世界がどんなものでも乗り越えていけるでしょう。

(渡部泰明、平野多恵、出口智之、田中洋美、仲島ひとみ著 『国語をめぐる冒険』から)

- *1 概念・・・考え方
- *2 四つに組んで・・・正面から向き合って
- *3 腑に落ちたり・・・納得できたり
- *4 誘発・・・あることがきっかけとなって、ほかのことを引き起こすこと
- *5 『伊勢物語』の男・・・平安時代の古典『伊勢物語』の主人公
- *6 メロス・・・太宰治の小説『走れメロス』の主人公
- *7 李徴・・・中島敦の小説『山月記』の主人公
- *8 遭遇・・・思いがけず出会うこと

(1) 「七変化」は二字熟語の上に一字の語を加えた漢字三字の熟語です。これと同じ構成の熟語のうち、一字の語に漢数字を使わない漢字三字の熟語を二つ書きましょう。ただし、「小学校」と「小道具」や、「小学校」と「中学校」のように、同じ語を二回使ってはいけません。また、「漢」「数字」「小」「学校」「道具」「中」も使ってはいけません。

Blank box for answer (1)

(2) 線部ア「でも成長もない」とありますが、「コンフォート・ゾーン」で人が成長しないのはなぜですか。書き出しの言葉に続けて、十五字以内で説明しましょう。()、や。や。「」なども一字に数えます。()

Blank box for answer (2)

※

※

1※

2※

3※

※

受検号
番号

(3) この文章を読んだ太郎さんたちは、グループで話し合っています。次は、そのときの【話し合いの様子の一部】です。これを読んで、あなたが花子さんならどのように話しますか。空らんA、B、Cにその内容を書きましょう。ただし、空らんAは二十字以内、空らんBは二十五字以内、空らんCは四十字以内で書きましょう。()、や。や。「」なども一字に数えます。()

【話し合いの様子の一部】

太郎 ——線部イ「隠された宝物には出会えない」とあるけれど、実際にはどうすれば、出会うことができるのかな。
次郎 「はじめての表現の手触りを確かめたり」や、「あたりまえの言葉の底をのぞいたり」と書かれているけれど、どういうことなのかな。
花子 今まで使ったことのない言葉を使ってみたりすることや、
太郎 そうだね。さらに、——線部ウ「文学は実学である」と書いてあるけれど、「実学」ってどういう意味かな。
次郎 辞書を引いてみると、実学とは「社会生活で実際に役立つ学問」と書いてあるよ。
太郎 なぜ、文学は社会生活の中で役に立つのかな。
花子 その理由は、文章から読み取れるよ。文学作品を読むことで、
太郎 そういうことか。だから、ぼくたちはこれからも色々な文学作品を読んでいく必要があるね。

A 二十字

※

B 二十五字

※

25字

C 四十字

※

40字

2※

課題2 あなたがこれまでに受けた教科の授業の中で、実際の生活場面で役立つ学習内容はありますか。また、それはどのように役立ちましたか。生活場面を一つ取り上げ、次の条件に合わせて具体的に書きましょう。

〈条件〉

- ここでいう教科とは、国語・社会・算数・理科・音楽・図画工作・家庭・体育・外国語・道徳を指します。全ての教科を取り上げる必要はありません。
- 二百字以内で書きましょう。()、や。や。「」なども一字に数えます。()
- マス目から書き、とちゅうで行を変えないで、続けて書きましょう。

※

200字

100字

受検
番号

課題3 太郎さんたちは、食料生産や工業生産について学んだことから、国内における貨物の輸送について調べ学習を行っています。あとの会話文を読んで、(1)～(3)に答えましょう。

太郎：貨物の輸送手段別の割合を示している資料1を見つけたよ。輸送トン数は、輸送した貨物の重量を表しているよ。でも、輸送トンキロとは何だろう。

花子：調べてみると、輸送トンキロは、貨物の輸送の規模を表す目安として使われていて、資料2に示した式で計算したものだよ。

次郎：輸送トン数と輸送トンキロの割合を比かかると、ちがいがああるね。

(1) 輸送トン数と輸送トンキロの割合を比かかると、トラックと船の割合が大きくなりすぎたのはなぜですか。その理由として考えられることを船による輸送に注目して書きましょう。

資料1 貨物の輸送手段別の割合(令和元年度)

輸送トン数			
トラック	鉄道	船	飛行機
91.8%	0.9%	7.2%	0.0%

輸送トンキロ			
トラック	鉄道	船	飛行機
52.9%	4.9%	42.0%	0.2%

(国土交通省資料から作成)

資料2 輸送トンキロの計算式

輸送した貨物の重量(t) × 輸送したきより(km)

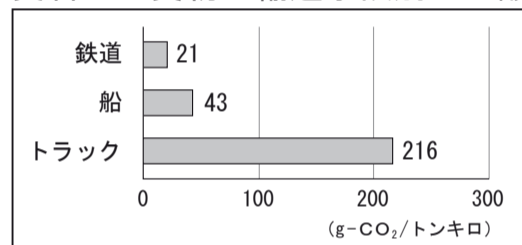
※

次郎：日本の1年間の平均気温が100年前より1℃以上高くなっているというニュースを見たよ。未来のために、地球温暖化対策の1つとして貨物の輸送を工夫できないかな。

太郎：貨物の輸送手段別の二酸化炭素はい出量を示した資料3から、二酸化炭素のはい出量を減らすことが考えられそうだね。

花子：資料3に加えて、トラックのハイブリッド車の台数の変化がわかる資料4も使って考えてみようよ。

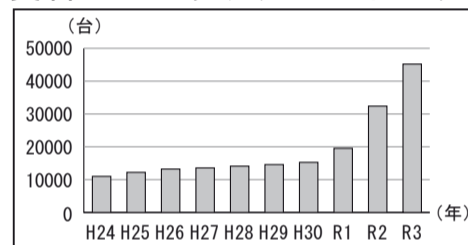
資料3 貨物の輸送手段別の二酸化炭素はい出量(令和2年度)



※g-CO₂/トンキロは、貨物1tを1km輸送するときにはい出する二酸化炭素の量。

(国土交通省資料から作成)

資料4 トラックのハイブリッド車の台数



※H:平成 R:令和
※トラックのハイブリッド車は、主に軽油で動くエンジンと電力で動くモーターを組み合わせで走行する。

(自動車検査登録情報協会資料から作成)

(2) 二酸化炭素のはい出量を減らすためには、貨物の輸送についてどのような工夫が考えられますか。資料3,4のそれぞれから読み取ったことを取り上げながら、あなたの考えを書きましょう。

※

太郎：身近な宅配便には、トラックが多く使われているね。

花子：宅配便は、家まで届けてもらえるから便利だけれど、トラックの走行きよりは長くなるね。

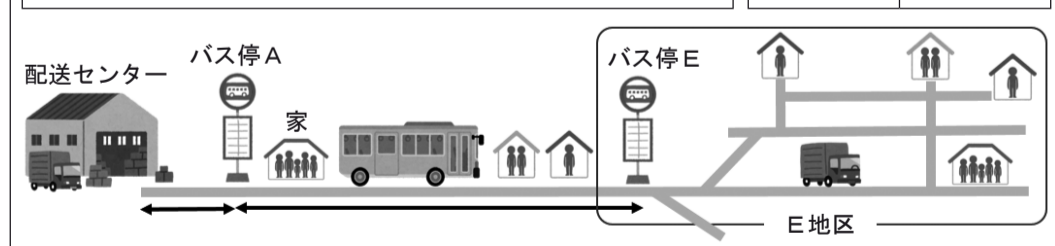
次郎：過そ化が進むE地区では、利用者が減少した路線バスの座席の一部を荷台にして、宅配便の荷物を輸送する計画があると聞いたよ。

太郎：トラックの走行きよりを減らすには、よい考えだね。

(3) 資料5は、E地区一帯の宅配便にかかわる情報をまとめたものです。現在、トラックは配送センターとE地区の間を1日に2往復して配達を行っています。午後便の荷物の輸送に路線バスを活用してトラックの走行きよりを減らすには、どうしたらよいと考えますか。資料5をもとに、次の条件をふまえて、具体的な配達方法を書きましょう。

資料5 E地区一帯の宅配便にかかわる情報をまとめたもの

【現在の配達方法など】 午前 9:00 配送センターを出発し、午前便の配達を開始する 午後 12:30 午前便の配達を終えて、配送センターにもどる ※午後便の荷物が、正午に配送センターに届くため 午後 2:00 荷物をのせて、午後便の配達を開始する 午後 5:10 午後便の配達を終えて、配送センターにもどる ○配達地域 E地区までの道中にある家やE地区の家 ○配達に使うトラックの台数 1台	バス停E行き 路線バス時刻表	
	バス停A発	バス停E着
	午前 10:30	午前 11:00
	午後 1:20	午後 1:50
	午後 6:10	午後 6:40



- 〈条件〉○ 路線バスは、バス停Aを始発、バス停Eを終着とし、バス停の位置とバスの出発時刻は変えられないものとします。
○ トラックが荷物を届ける時間帯は、午前便(9:00～12:00)、または午後便(2:00～5:00)のどちらかに指定されているものとします。
○ 配送センターからバス停Aの間は、E地区一帯の配達に使うトラックとは別のトラックで運ぶことができます。

※